



**Voice** ジュビリー 25：新潟

## 次年度は、55 回卒・80 回卒の先生が該当 旧交を温め、母校の誇りを実感する良い機会としてお勧め

今年度より、日本歯科大学校友会の御発案により、卒後50周年と25周年を迎えた校友を、毎年6月1日の創立記念日に開催される日本歯科大学創立記念式典（6月1日）への参列制度（創立記念式典特別参列制度 ジュビリー 5025）が開催されることになりました。栄えある第1回の参列者として、卒後50周年（ゴールドジュビリー）にあたる54回卒の大先輩と、私共卒後25周年（シルバージュビリー）となる79回卒をお招きいただき、富士見ホールで開催された式典に参加いたしました。校友会より記念品としてシルバーで縁取られたジュビリー校章をいただき、式典に臨みました。参加者一同は、厳かな雰囲気ですらと行われる神事を目の当たりにして、母校の伝統の重みと誇りを実感いたしました。式典終了後、ホテルグランドパレスにおいて、大学のご厚意により、創立109周年記念式典祝賀パーティーが開催され、式典参列者を含め、お招きいただきました。同級生だけでなく、母校の教職員をはじめ、54回卒の先生方と旧交を温め、有意義な時間を過ごすことができました。54回卒には、クラス担任であった村上俊樹名誉教授（生理学）も参加しておられ、懐かしいご尊顔を拝することができました。

79回卒は、1990年（平成2年）3月卒業で、両学部で262名が母校を巣立っております。時代は、ま

さにバブル景気で沸き返り、歯科界は8020運動がスタートし、齲蝕対策から予防の時代に突入した中での卒業でした。それから25年が経過し、超高齢化社会となり、8020運動は38%超えを達成、高齢多歯の時代に突入し、歯科界は国民の健康寿命の延伸に、口腔保健から寄与することが求められています。このような時代の変遷の中で、79回卒の我々は、歯科界の中堅として、歯科医師としての総仕上げの時期に差しかかりました。お互いの近況や仕事について語り合いながら、さらなる健闘と再会を誓い合いました。なお、79回卒（新潟）は、本年11月8日に、新潟において卒後25周年記念同窓会を開催予定です。ジュビリー 5025に参加できなかった諸君も、是非参加いただき、盛会になることを願っています。

卒後25年、50年それぞれ、人生、歯科医師としての大きな区切りに、貴重な機会をいただき、日本歯科大学校友会ならびに母校日本歯科大学に深く御礼申し上げます。次年度のジュビリー 5025は、55回卒、80回卒の先生が該当します。同級生との旧交を温め、母校日本歯科大学の校友としての誇りを実感する非常に良い機会かと存じますので、参加をお勧めします。

（田中 彰・79回記）



中原 泉 理事長・学長（54回）、  
近藤勝洪 校友会会長（54回）を囲んで



ジュビリー 5025 参加者の面々（79回・新潟）



親子で参列した  
阿部輝夫先生（54回）と  
阿部一雄君（79回・新潟）